

令和4年12月14日

建設委員会資料

上下水道局

目 次

〔報告事項〕

- 1 第2次富山市上下水道事業中長期ビジョン（後期計画）の見直しについて・・・1頁
- 2 契約金額1億5,000万円以上の工事請負契約について・・・5頁

1 第2次富山市上下水道事業中長期ビジョン（後期計画）の見直しについて

1 概要

本市の上下水道事業の経営戦略である「第2次富山市上下水道事業中長期ビジョン（H29～R8）」は、令和3年度末に前期5カ年が終了し、本年4月から後期5カ年がスタートしている。

前期の「投資・財政計画」は概ね計画どおりの進捗となったものの、後期は財政シミュレーションの結果、物価高騰等による影響が大きく、水道及び公共下水道事業に大幅な乖離が生じる見込みとなったため、後期の投資・財政計画及び成果指標（水道事業のみ）を見直しするもの。

なお、工業用水道事業については、計画との乖離が小さいため、見直しは行わない。

2 前期計画（H29～R3）の実績について

（1）水道事業

・前期純利益（累計額）は、約9億5千万円の増（+43%）となり、指標も概ね目標値を達成した。

① 収益的収支 (単位：百万円)

科目	前期計画	前期実績	増減率
収益	35,877	36,143	100.7%
費用	33,669	32,986	98.0%
純利益	2,208	3,157	143.0%

② 資本的収支 (単位：百万円)

科目	前期計画	前期実績	増減率
収入	11,324	9,832	86.8%
支出	32,446	30,543	94.1%
差額	△21,123	△20,710	98.0%

③ 成果指標

指標名	R3 目標	R3 実績	達成状況
配水幹線の耐震化率	67.5%	<u>65.6%</u> (▲1.9%)	概ね達成
全水道管路の耐震化率	44.6%	<u>43.4%</u> (▲1.2%)	概ね達成
給水拠点整備完了数	89箇所	<u>89箇所</u>	達成

（2）公共下水道事業

・前期は、収益的及び資本的収支ともに概ね計画どおりとなり、指標も全て目標値を達成した。

① 収益的収支 (単位：百万円)

科目	前期計画	前期実績	増減率
収益	82,842	81,789	98.7%
費用	71,359	70,765	99.2%
純利益	11,483	11,024	96.0%

② 資本的収支 (単位：百万円)

科目	前期計画	前期実績	増減率
収入	40,269	37,286	92.6%
支出	77,865	75,321	96.7%
差額	△37,596	△38,035	101.2%

③ 成果指標

指標名	R3 目標	R3 実績	達成状況
老朽対策を実施したコンクリート管の割合	86.4%	<u>86.6%</u> (+0.2%)	達成
大雨に対して安全である地区の面積の割合	77.3%	<u>77.5%</u> (+0.2%)	達成
水洗化率	95.7%	<u>96.5%</u> (+0.8%)	達成

3 「後期投資・財政計画（R4～R8）」見直しにあたっての基本的な考え方について

- ① 電気料や原材料費など、急激な物価高騰等による影響額の反映
- ② 前期の実績等を踏まえた経費及び財源の精査
- ③ 当初計画のとおり、料金改定は見込んでいない

4 成果指標（目標値）の見直し案について

（1）水道事業

水道事業については、昨今の物価高騰による経費の増の影響が大きく、現行の投資額及び事業費配分では、3項目全ての成果指標の目標値を達成できない見込となった。

このことから、最も重要な管路と位置付ける口径 350 mm以上の「配水幹線の耐震化率」については、事業費を上乗せして、R8時点の目標値を維持することとし、その他の「全水道管路の耐震化率」及び「給水拠点整備完了数」は下方修正し、全体の事業費配分にメリハリをつける。

指標名	R4		R5		R6		R7		R8	
	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更
配水幹線の耐震化率	71.7%	70.6%	76.4%	75.4%	81.0%	80.7%	86.2%	86.5%	92.6%	目標値維持
全水道管路の耐震化率	45.3%	44.0%	46.1%	44.3%	46.9%	44.7%	47.7%	45.1%	48.5%	45.5% (▲3.0%)
給水拠点整備完了数	93箇所	93箇所	96箇所	94箇所	99箇所	95箇所	101箇所	97箇所	108箇所	98箇所 (▲10箇所)

（2）公共下水道事業

公共下水道事業については、水道事業同様、物価高騰等の影響はあるものの、現行計画におけるR8時点の目標値は、3項目いずれも達成できる見込みであることから、見直しは行わない。

【指標①】老朽対策を実施したコンクリート管の割合（R8目標値：96.3%）

【指標②】大雨に対して安全である地区の面積の割合（R8目標値：78.8%）

【指標③】水洗化率（R8目標値：96.4%）

5 投資・財政計画の見直し案について

3頁及び4頁のとおり

(1) 水道事業：後期（R4～R8）の投資・財政計画（案）

※前記3「後期計画の見直しにあたっての基本的な考え方」に基づき、収支見通しを以下のとおり試算

【収益的収支】電気料金の高騰や労務単価の上昇等の影響が大きく、純利益は計画を下回る見込みではあるものの、黒字を確保できる見込みである。なお、純利益の5ヵ年累計額は、計画比で約1.2億円の減（増減率88.8%）となる見込みである。

【資本的収支】企業債充当率を引き上げる（計画：R4～75%⇒85%）ことにより、企業債収入は増となるものの、配水幹線の耐震化率の目標値を維持するため、後期の建設改良費を増額するため、資本的収支不足額は計画比で約4.9億円増（増減率102.9%）となる見込みである。

【資金残高】計画でのR8末資金残高見込（約15.5億円）に対して、約0.9億円増の16.3億円（増減率105.6%）と概ね計画どおりの資金残高となる見込みである。

【企業債残高】R8末時点での企業債残高は、計画比で約5.4億円減の39.1億円（増減率98.6%）となる見込みである。

収益的収支

(単位：百万円)

科目・年度	R4		R5		R6		R7		R8		後期(R4～R8)累計額			
	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画(A)	変更(B)	差(B-A)	増減率
営業収益	5,998	5,942	5,968	5,863	5,937	5,833	5,901	5,796	5,865	5,760	29,670	29,194	△475	98.4%
営業外収益	1,041	1,024	1,023	1,027	1,011	1,034	994	1,044	980	1,055	5,049	5,183	134	102.7%
収益	7,040	6,965	6,991	6,891	6,948	6,866	6,895	6,840	6,844	6,815	34,718	34,377	△341	99.0%
営業費用	6,012	6,061	6,059	6,043	6,106	6,143	6,105	6,232	6,125	6,296	30,407	30,775	357	101.2%
営業外費用	679	586	667	560	651	533	644	512	639	496	3,280	2,687	△593	81.9%
費用	6,692	6,647	6,726	6,603	6,757	6,676	6,750	6,744	6,763	6,792	33,688	33,462	△226	99.3%
純利益	348	318	265	288	191	190	145	96	81	23	1,031	916	△115	88.8%

資本的収支

(単位：百万円)

科目・年度	R4		R5		R6		R7		R8		後期(R4～R8)累計額			
	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画(A)	変更(B)	差(B-A)	増減率
企業債	2,752	3,017	2,413	2,583	2,732	2,828	2,688	2,952	2,420	2,337	13,005	13,769	763	105.9%
出資金	81	82	75	76	71	72	68	69	66	67	361	367	5	101.4%
国庫補助金	306	628	338	490	303	790	333	756	320	823	1,601	3,487	1,885	217.7%
その他	146	132	146	78	146	78	146	78	146	78	728	443	△285	60.8%
資本的収入	3,285	3,859	2,973	3,227	3,252	3,768	3,235	3,855	2,952	3,355	15,696	18,065	2,369	115.1%
建設改良費	4,405	5,463	3,985	4,210	4,225	4,845	4,347	4,880	3,774	4,279	20,737	23,676	2,939	114.2%
企業債償還金	2,480	2,488	2,504	2,486	2,439	2,417	2,393	2,367	2,373	2,352	12,189	12,110	△79	99.4%
資本的支出	6,885	7,951	6,489	6,696	6,664	7,262	6,741	7,247	6,147	6,631	32,926	35,786	2,860	108.7%
収支差額	△3,601	△4,091	△3,517	△3,468	△3,412	△3,495	△3,505	△3,391	△3,196	△3,276	△17,230	△17,721	△491	102.9%

科目・年度	R4		R5		R6		R7		R8	
	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更
資金残高	746	1,143	887	1,286	1,135	1,374	1,237	1,482	1,548	1,634
企業債残高	39,128	37,999	39,037	38,096	39,330	38,508	39,625	39,093	39,672	39,128

(2) 公共下水道事業：後期（R4～R8）の投資・財政計画（案）

※前記3「後期計画の見直しにあたっての基本的な考え方」に基づき、収支見直しを以下のとおり試算

【収益的収支】電気料金の高騰や労務単価の上昇のほか、一般会計繰入金の減等があり、純利益は計画を下回る見込みではあるものの、黒字を確保できる見込みである。なお、純利益の5ヵ年累計額は、計画比で約44.8億円の減（増減率57.4%）となる見込みである。

【資本的収支】企業債対象外事業の増に伴う企業債収入の減や受益者負担金の減により、資本的収支不足額が約19.2億円の増（増減率106.2%）となる見込みである。

【資金残高】収益的収支における現金収支の減及び資本的収支不足額の増により、R8末の資金残高は計画比で約86.2億円減の44.2億円（増減率33.9%）となる見込である。なお、計画値と大きな乖離が生じた主な理由は、支出面における物価高騰等に伴う全体的な経費の増に加え、収入面でも、交付税措置の見直しに伴う繰入金の減や企業債対象外事業の増に伴う企業債収入の減、受益者負担金収入見込みの減等によるものである。

【企業債残高】企業債償還が計画どおり進むことに加え、企業債対象外費の増に伴う借入額の減によって、R8末時点での企業債残高は計画比17.5億円減の約71.8億円（増減率97.6%）となる見込みである。

収益的収支

(単位：百万円)

科目・年度	R4		R5		R6		R7		R8		後期(R4～R8)累計額			
	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画(A)	変更(B)	差(B-A)	増減率
営業収益	11,202	11,007	11,141	10,798	10,996	10,612	10,833	10,373	10,742	10,244	54,914	53,034	△ 1,880	96.6%
営業外収益	5,160	4,530	5,137	4,107	5,111	4,085	5,120	4,057	5,133	4,026	25,660	20,805	△ 4,856	81.1%
収益	16,362	15,537	16,278	14,904	16,107	14,697	15,952	14,430	15,875	14,270	80,574	73,839	△ 6,736	91.6%
営業費用	12,333	12,203	12,415	12,267	12,461	12,293	12,580	12,365	12,698	12,435	62,487	61,563	△ 925	98.5%
営業外費用	1,757	1,516	1,612	1,356	1,488	1,211	1,400	1,087	1,312	985	7,570	6,155	△ 1,415	81.3%
費用	14,090	13,737	14,027	13,641	13,950	13,521	13,981	13,469	14,010	13,437	70,057	67,805	△ 2,252	96.8%
純利益	2,272	1,801	2,251	1,254	2,158	1,176	1,972	961	1,865	832	10,517	6,034	△ 4,484	57.4%

資本的収支

(単位：百万円)

科目・年度	R4		R5		R6		R7		R8		後期(R4～R8)累計額			
	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画(A)	変更(B)	差(B-A)	増減率
企業債	3,603	4,314	3,629	3,458	3,170	2,918	3,276	3,122	3,230	3,633	16,908	17,444	537	103.2%
出資金	1,712	1,757	1,680	1,655	1,704	1,720	1,657	1,663	1,616	1,660	8,369	8,465	96	101.1%
国庫補助金	1,963	2,757	2,023	2,072	2,033	2,156	2,103	2,167	2,173	2,129	10,293	11,281	988	109.6%
その他	363	143	363	179	363	217	363	232	363	244	1,815	1,016	△ 799	56.0%
資本的収入	7,641	8,970	7,694	7,374	7,269	7,011	7,398	7,184	7,382	7,666	37,384	38,205	821	102.2%
建設改良費	5,319	7,161	5,409	5,409	5,595	5,595	5,703	5,703	5,792	5,792	27,818	29,660	1,842	106.6%
企業債償還金	9,277	9,355	8,955	9,055	7,916	8,024	7,472	7,560	7,130	7,694	40,751	41,688	937	102.3%
その他	9	3	9	3	9	3	9	3	9	3	46	14	△ 32	30.9%
資本的支出	14,605	16,519	14,373	14,467	13,520	13,622	13,185	13,266	12,932	13,488	68,615	71,362	2,747	104.0%
収支差額	△ 6,964	△ 7,548	△ 6,679	△ 7,094	△ 6,251	△ 6,611	△ 5,787	△ 6,082	△ 5,550	△ 5,822	△ 31,231	△ 33,157	△ 1,926	106.2%

科目・年度	R4		R5		R6		R7		R8	
	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更	計画	変更
資金残高	5,762	2,561	7,287	2,522	9,069	2,864	11,036	3,562	13,051	4,426
企業債残高	91,708	90,992	86,381	85,394	81,635	80,289	77,439	75,850	73,538	71,789

2 契約金額1億5,000万円以上の工事請負契約について

- (1) 富山公共下水道浜黒崎浄化センター第一系列水処理設備改築(その2)機械設備工事
(富山市 浜黒崎 地内)

契約の方法	一般競争入札
予定価格	256,080,000円
契約の金額	229,350,000円
契約の相手方	三菱化工機・富士技研・鈴木工業富山公共下水道浜黒崎浄化センター第一系列水処理設備改築(その2)機械設備工事共同企業体 代表者 大阪府中央区今橋二丁目5番8号 三菱化工機株式会社 大阪支社 支社長 岸田 弘幸
契約締結日	令和4年10月5日
工 期	令和4年10月6日～令和6年2月22日

位置図



(2) 富山公共下水道下新第1排水区下新本町地区下新川雨水幹線築造(第11工区)
 工事
 (富山市 下新本町 地内)

契約の方法	一般競争入札
予定価格	166,650,000円
契約の金額	166,100,000円
契約の相手方	角地建設・日本海建興富山公共下水道下新第1排水区下新本町地区下新川雨水幹線築造(第11工区)工事共同企業体 代表者 富山市下新北町5番32号 角地建設株式会社 代表取締役 角地 久和
契約締結日	令和4年10月6日
工 期	令和4年10月7日～令和5年3月15日

位置図



(3) 流域関連富山公共下水道新鍛冶川排水区呉羽町地区呉羽苑貯留池築造工事
(富山市 呉羽町 地内)

契約の方法	一般競争入札
予定価格	674,080,000円
契約の金額	673,200,000円
契約の相手方	松原建設・篠川組・高田組流域関連富山公共下水道新鍛冶川排水区呉羽町地区呉羽苑貯留池築造工事共同企業体 代表者 富山市石坂2449番地2 松原建設株式会社 代表取締役 松原 悠大
契約締結日	令和4年10月11日
工期	令和4年10月12日～令和6年1月31日

位置図

